

会 議 録

会 議 名	令和4年度第3回小金井市史編さん委員会		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	令和5年2月20日（月）午後2時から2時40分		
開 催 場 所	小金井市役所第二庁舎 601会議室		
出 席 委 員	根岸委員長 牛米委員 中嶋委員 日高委員 井上委員		
欠 席 委 員	大熊委員		
事 務 局 員	関生涯学習課長 碓井文化財係長 高木文化財係主任		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	1名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 「市史編纂資料第62編 梶野家文書（5）」の刊行について</p> <p>(2) 市民協力員の活動について</p> <p>(3) 主催事業の結果について</p> <p>(4) 多摩郷土誌フェアについて</p> <p>2 その他</p> <p>3 次回の会議日程候補 令和5年5月15日（月）14時から</p>		

会 議 結 果

関生涯学習課長 ただいまから令和4年度第3回市史編さん委員会を開催いたします。
初めに、委員のうち小澤委員につきましては、令和4年12月31日付で副市長を退任しました。市史編さん委員会条例第3条3号区分である市の職員枠、副市長につきましては、新たな副市長が着任次第の就任という形になります。ご了承ください。

なお、教育長につきましては、本日、議会对応のため欠席となります。それでは、ここからの議事進行は根岸委員長にお願いしたいと思います。委員長、よろしくお願いいたします。

根岸委員長 よろしくお願いたします。市史編さん委員会につきましては、息の長い委員会ですので、ぜひ1年1年積み重ねをしていければと思っていますので、よろしくお願いいたします。

1 報告

(1) 「市史編纂資料第62編 梶野家文書(5)」の刊行について

根岸委員長 それでは、議事に入らせていただきます。

「報告事項(1) 『市史編纂資料第62編 梶野家文書(5)』の刊行について」を事務局からお願いいたします。

高木主任(学芸員) 本日、皆様のお手元に「市史編纂資料第62編 梶野家文書(5)」を配布させていただいています。こちらは、令和4年11月に刊行いたしました。現在、市史編纂資料につきましては、62編まで来ております。令和2年度、令和3年度には、「石造物調査報告(1)・(2)」を刊行し、石造物については、一定、調査結果を纏めましたので、令和元年度以前に引き続き、梶野家文書の翻刻作業の成果を随時また刊行していく、という形となります。

令和4年度は、「市史編纂資料第62編 梶野家文書(5)」を刊行いたしました。令和5年度以降も引き続き、翻刻作業を進め、その成果を、市史編纂資料編として刊行していく計画となっております。

報告は以上となります。

根岸委員長 この件につきまして、何かご意見ございますか？よろしいでしょうか？

梶野家文書は、非常に量が多く、細かい帳簿類がたくさんあります。

長いスパンで比較しながら見ていきますと、村の変化の様子の解明に繋げることができますし、また、例えば弁天様の拝殿の再築、鎮守の仙人の入用、絵馬の作製及び奉納というような、人々の生活の状況が確認できて、もしこの絵馬が実際に残っていれば、文化財として重要になるものですので、このような細かい史書を丁寧に翻刻しながら、長いスパンをかけて蓄積する、というのは非常に大きい成果である、と考えていますし、ぜひこれからも続けていただければと思っています。

委員の皆様から何かあればお願いします。よろしいでしょうか？

委員全員 (特になし)

(2) 市民協力員の活動について

根岸委員長 それでは、「報告事項(2) 市民協力員の活動について」を事務局からお願いいたします。

高木主任（学芸員） 市民協力員、現在は閑野さんと美谷島さんのお二人に市との協働、という形でご協力をいただいております。

本日は、お二人がそれぞれどのような活動をしているかというところを改めてご報告させていただきたい、と思っております、まず閑野さんにつきましては、地元のお生まれの方で、長きに渡り、地域のことを詳しくお調べになっている方です。役割といたしましては、非常に活動力があり、市内全域を歩いて回るような方ですので、何か市の情報、例えば古い建造物が取壊されるとか、そういう情報をいち早くキャッチしていただき、所有者の方等とコンタクトを取って、処分の前に一度、市が確認に行く、そのような非常に重要な役割を担っていただいております。

また、関係者の方々からの聞き取りも閑野さんを窓口に進めており、市の文化財行政において必要不可欠な存在です。特定分野を専門としている、ということではなく、いろんなジャンルに興味をお持ちですので、旧石器・縄文時代の遺跡から、現代史に至るまで、全て担っていただいております。

美谷島さんは、実は小金井市文化財センター職員のご経験もあり、古文書の調査、研究に長く携わっていただいておりますので、現在は、そのスキルを生かし、梶野家文書、梶家文書等の古文書調査に関してご協力をいただいております。協力員でありながら、専門的なスキルをお持ちということで、非常にお力添えをいただいておりますので、お二人には、今後もこれまでと同様の形で、調査、研究にお力添えをいただければ、と思っております。

報告は以上です。

根岸委員長 ありがとうございます。何かご質問、ご意見はいかがでしょうか？よろしいでしょうか？

委員全員 （特になし）

根岸委員長 それでは、これからもお二人に引き続きお願いしたいと思います。

(3) 主催事業の結果について

根岸委員長 それでは、「報告事項(3) 主催事業の結果について」を事務局からお願いいたします。

高木主任（学芸員） 地域史講座、文化財講演会、企画展の3事業を纏めてご報告いたします。これらは、市史編さん事業と直接的な関係はありませんが、内容的に、非常に市史編さんと密接に関わる内容である、ということと、地域史講座及び文化財講演会の講師は元・市史編さん調査員の方をお願いした、ということもありましたので、市史編さんの成果の活用、という観点でご報告させていただきます。

まず、地域史講座につきましてご報告させていただきます。こちらにつきましては、令和3年度から開始した事業になります。委員の皆様

は、「小金井市史をよむ」という講座においてご講演をいただきました。

非常に好評をいただき、おかげ様を以て、令和4年度に第2回の地域史講座を開催することができました。

今回はお一人の方に、3回講座を全てお願いしております。講師は、元・考古部会の調査員である野口淳氏にお願いをいたしました。「小金井のあけぼの～旧石器時代の野川流域～」というタイトルで、小金井が始まり、人が入ってきた、旧石器時代についての講座を実施いたしました。

非常に申込数も多く、先着順で24名という形で、枠が少なかったこともあり、すぐに埋まるような申込状況でした。

3回講座で、10月15日、10月22日、10月29日の3週連続で開催いたしました。延べ参加人数としては3回で65名の方々にご参加いただきました。

各回の内容としましては、第1回のタイトルは、「日本列島に到達した人類と小金井最古級の遺跡」、第2回のタイトルは、「氷河時代の野川流域の環境と人々の暮らし」、第3回のタイトルは、「旧石器時代から縄文時代へ」という、それぞれのテーマに沿った形で、非常に濃密な講座をしていただきました。講話だけに留まらず、出土した石器を会場にお持ちいただき、参加者にご覧いただき、同時に実際に手に取って、小金井の旧石器時代というのを実際に体感していただきました。非常に参加者には好評で、中身の濃い講座になりました。

令和5年度以降も、地域史講座を継続していくことはもちろん、市史における調査・研究の成果も活用しながら進めていきたい、と考えています。

次に、文化財講演会につきましてご報告させていただきます。

こちらは、「小金井桜の誕生～史蹟名勝天然記念物保存制度と近代の小金井桜～」というタイトルで、元・近代部会の調査員である清水裕介氏にご講演いただきました。サブタイトルに「近代」と入っているとおり、小金井桜を江戸時代から見るのではなくて、小金井桜が名所として、文化財として指定された大正13（1924）年の前段の明治時代以降の近代のお話をメインにご講演いただきました。

こちらは令和4年11月25日金曜日の午後6時半から開催いたしました。参加者数は23名でした。

清水氏のご専門の分野の中で、小金井桜をちょっと絡ませていただきました。清水氏は、現在、北区にある渋沢史料館のほうで学芸員としてご研究されています。また、天皇、特に明治天皇などのご研究もされていて、そのような観点から、明治天皇の行幸の歴史、そこから見る小金井桜という視点でも見ていただきました。非常に面白い内容で、有名な話ですが、小金井桜は、明治時代になって明治天皇の行幸があります。

それ以後、行幸はされることはないのですが、侍従の方が毎年毎年桜を見に来ていた、明治天皇が行かせていた、と言ったほうが正しいでしょうか。そういうところから見て、おそらく京都の宮中文化を東京の多

摩の中に当てはめていたのではないかと。京都における花見の名所としては嵐山が有名ですが、東京でいえば小金井桜だと。多摩の地域でも、そういう宮中文化を見立てたのではないかと、という推察を、清水氏ならのでは、独自の見解という形で、ご提示いただきました。

これは小金井桜という文化財、そして歴史の深い桜並木を改めて考える非常にいいきっかけになったのではないかと、思っております。

また、名勝小金井桜というのが大正13年、西暦1924年に国の名勝指定されていますので、1年後の2024年に名勝指定100周年記念を迎えます。その機運醸成、という意味合いも含めて、改めて小金井桜について知っていただきたい、というところもありますので、今後、小金井桜に関してはテーマを設けて、また、「名勝指定100周年」を見据えて、文化財市史編さんというところからもアプローチしていければ、と思っております。

最後に、文化財センター秋の企画展「梶家の絵図」につきましてご報告させていただきます。

これは昨年11月1日から12月28日までの50日間、実施しました。前回委員会開催時には、企画展の前段階の説明をさせていただきましたが、梶家が所蔵する文書群の中から、特に絵図、古地図関係でかなり注目すに値するものが確認できましたので、今回は、今後、調査・研究を進めるに当たり、絵図を先行的に公開させていただきました。

50日間の期間中の来館者数は、合計1,035名で、小金井市文化財センターの中で、ここ10年間で、企画展期間内の来館者数としては最多となります。非常に興味をお持ちの方が多かったのか、大変喜ばしい結果となりました。

今後は、梶家は市史において重要な、上小金井村の名主ですので、調査員、市民協力員の方々のお力もお借りしながら、梶家の文書群を、絵図も含めて、今後少しずつ調査を進めていく予定です。

以上で、主催事業の結果に関する報告を終わります。

根岸委員長 ありがとうございます。

今、地域史講座では旧石器時代の小金井、文化財講演会では小金井桜の誕生、企画展では梶家の絵図、という3事業の結果についてご報告いただきましたが、何かご意見、ご質問はございますか？

日高委員 本日は、おそらく令和4年度最後の委員会になると思いますが、可能であれば、令和5年度の事業について、内容等が決まっているものがあればご報告いただけたら、と思いたいのですがいかがでしょうか？

高木主任（学芸員） 現時点では、未だ企画中、という状況です。

根岸委員長 他にご意見、ご質問はございますか？

日高委員 事業につきましては、内容や日時等、概要が決まった際には、委員になるべく早く情報提供をいただけるとありがたいです。

中嶋委員 私も同感です。

根岸委員長 このような事業を企画しています、というご連絡をしていただけるとありがたいです。よろしくお願ひします。

関生涯学習課長 今後、主催事業につきましては、委員の皆様にはその概要を事前にお知らせさせていただき、ということで承りました。

令和4年度の主催事業につきましては、特に市史と関連が深い、紐づいた事業ということで、本委員会に於いて、報告としてお示しさせていただきました。

今後は、市史と直接的に関連性のあるテーマでない場合も含めて、事業概要が決まり次第、委員の皆様には必ずお知らせさせていただき形にさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

根岸委員長 よろしくお願ひします。

本件につきまして、他にご質問、ご意見はいかがでしょうか？

よろしいでしょうか？

委員全員 (特になし)

根岸委員長 それでは、令和5年度以降につきましては、事前のご連絡を是非よろしくお願ひします。

(4) 多摩郷土誌フェアについて

根岸委員長 それでは、「報告事項(4) 多摩郷土誌フェアについて」を事務局からお願ひいたします。

碓井文化財係長 それでは、多摩郷土誌フェアにつきましてご報告させていただきます。

多摩地域各市町の文化財行政担当者が一堂に会し、各市の市史や文化財に関する多様な刊行物を即売会形式で販売するという本イベントは、令和2年度、令和3年度と、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、対面での販売会を中止させていただいていましたが、今年度、過日、令和5年1月21日(土)、22日(日)の2日間、立川市の立川市女性総合センターアイムにて、3年ぶりに開催されました。新型コロナウイルス感染症の第8波の影響が色濃く残っていた時期であったことや、感染拡大の影響等で、最終的には19市町の参加であったこと等を受け、参加者数は新型コロナウイルス感染症感染拡大前より少し少なめ、という印象でしたが、今回3年ぶりに対面での販売会を開催できた意義は大変大きかったと考えております。主催者である東京都市社会教育課長会の今年度会長市である西東京市、会場市である立川市をはじめ、参加された19市町の担当者の皆様並びにご参加いただいた参加者の皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。

なお、トータルの参加者数につきましては、西東京市からご報告をいただくのはこれからになりますが、小金井市のブースにて刊行物をご購入いただいた方の人数及び売上額につきましてご報告させていただきます。

ご購入いただいた方の人数は、令和5年1月21日(土)が27名、22日(日)が13名で、2日間合計で40名の方にご購入いただきました。売上額は令和5年1月21日(土)が2万2,400円、22日(日)が1万3,150円で、2日間合計で3万5,550円でした。小

金井市単体で申し上げますと、購入者数、売上額ともに、むしろ新型コロナウイルス感染症感染拡大前の平均を上回ることができました。事由としては、「小金井市史 年表・索引編」や「小金井市の石造物」のような、価格面やサイズ面で、比較的手に取りやすい、と思われるものを非常に多くの方にご購入いただけたことや、「市史編さん資料 小金井市の石造物（１）・（２）」のような、市史編さんの際に調査、収集した膨大な資料、データを生かした刊行物を、多くの方に手に取っていただけたこと等が挙げられると考えています。

今回の成果、課題につきましては、今後の刊行物計画の立案の際に参考とさせていただきたいと考えております。

以上で説明を終わらせていただきます。

根岸委員長 ありがとうございます。郷土誌フェアにつきまして、何かご意見、ご質問、いかがでしょうか。

日高委員 意見等は特にございませんが、個人的に、開催時は1回も欠かさずに参加しており、今回も、令和5年1月21日（土）の午前中に参加しましたが、非常に多くの方がいらしていた、という印象を受けました。

やはり、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、2回連続で中止になってしまっていたことの影響はあったように思います。参加者の皆様が、非常に待ちかねて来られている感じを強く受けました。

多摩地域では、現在、幾つかの自治体に於いて、自治体史の編纂が進んでおり、通史編で申し上げますと、清瀬市・狛江市等で近年刊行されています。

このような会場に足を運ばれる方は、ご自身がお住まいの自治体の歴史だけではなく、他の自治体の歴史にも興味をお持ちになられている方も多く、参加者と出展者である自治体職員とのコミュニケーションも多く生まれており、非常に活気がある、という印象を受けました。

根岸委員長 自治体の市史関係・文化財関係の刊行物をあれだけ一堂に見ること、入手することができる機会は非常に便利かつ貴重であると考えますし、各自自治体の宣伝効果も大きいと考えますので、今後もぜひ継続していただければ、と思います。

本件につきまして、他にご質問、ご意見はいかがでしょうか？

よろしいでしょうか？

委員全員 （特になし）

2 その他

根岸委員長 それでは、「2 その他」として「今後の事業について」を事務局からお願いいたします。

碓井文化財係長 それでは、「2 その他」として「今後の事業について」を、私の方からご説明させていただきます。

過日、令和4年度第2回市史編さん委員会におきまして、市として令和5年度よりビジュアル的な見やすさ、子ども目線での分かりやすさを兼ね備えた市史のダイジェスト版の作成作業を開始させていただきた

いと考えていること、及び作成作業を行う際の体制の検討や課題の洗い出し、具体的な作成スケジュール等につきましては、令和4年度の編集委員会及び令和4年度第3回市史編さん委員会の場でご議論をいただきたい旨、ご依頼させていただいたところです。しかしながら、大変申し訳ございませんが、現時点におきまして、事務局よりお示しさせていただくべき体制案や作成に向けたスケジュール案などの準備、取りまとめが間に合っておらず、本日の会議の議題とさせていただくことができませんでした。事務局の不手際につきまして、深くおわび申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

体制案、スケジュール案、作成に向けた課題の整理等につきましては、令和5年度のできるだけ早い時期に事務局案をお示しさせていただき、本委員会並びに編集委員会での御議論をお願いさせていただきますよう鋭意準備を進めてまいりたいと考えております。

以上、私からのご説明を終わらせていただきます。

根岸委員長

ありがとうございます。令和4年度においては、「子ども市史」につきまして、1回、編集委員会において議論させていただきました。その際に出た意見等を基に、事務局の方で「たたき台」としての案を作成していただく、という話になっていたと認識していますが、その作業が未だできていない、というご説明でよろしかったでしょうか？

「たたき台」の作成にはどの程度時間がかかるもののでしょうか？あくまで「たたき台」であり、完成形を求めているものではございませんので、スピード重視で、令和5年度第1回市史編さん委員会までには作成していただければ、と考えますがいかがでしょうか？

関生涯学習課長

この度の状況はひとえに事務局の不手際であり、大変申し訳ございませんでした。ただいま根岸委員長からもご指摘を賜りましたが、令和5年度第1回市史編さん委員会、或いは編集委員会までには必ず何らかのものをお示しさせていただきたいと考えております。

この度は大変申し訳ございませんでした。

日高委員

「子ども市史」につきましては、令和5年度に作成する、というお考えはない、という理解でよろしいでしょうか？

関生涯学習課長

はい。令和5年度の目標といたしましては、作成する刊行物の一定の方向性をお示しする、ということになると考えております。

根岸委員長

本件につきまして、他にご質問、ご意見はいかがでしょうか？

井上委員

令和4年度第2回市史編さん委員会におきまして、関連刊行物参考例をお配りいただき、「子ども市史」がどのようなものかもお示しいただいていましたので、是非このまま進めていただければ、と思います。

根岸委員長

本件につきまして、他にご質問、ご意見はいかがでしょうか？

委員全員

(特になし)

3 次回の会議日程候補

根岸委員長

それでは、「3 次回の会議日程候補」を事務局からお願いいたします。

碓井文化財係長 次回、令和5年度第1回市史編さん委員会につきましては、令和5年5月15日（月）14時から開催させていただきたい、というのが事務局案でございます。

根岸委員長 ありがとうございます。5月15日（月）14時から、ということでよろしいでしょうか？

委員全員 （異議なし）

根岸委員長 それでは、よろしく願いいたします。
以上を持ちまして、本日の議題は全て終了いたしました。本日の会議は以上で終了とさせていただきます。皆様どうもありがとうございました。